

子どもたちの未来を応援したい！

市民の皆さんと共に**新プロジェクト**を開始

子どもは、草加市の宝物です。この度、「こどもまんなか」のまちを目指して、市内・市外の皆様から寄付を募り、その資金を基に子どもたちのために活用する新プロジェクトを実施します。



いつまでも子どもたちの心に残る本を

図書館は、幼い頃から母によく連れて行ってもらっていたので、今でも気軽にできる場所の一つです。本からは、勇気やワクワク感がもらえるので大好きです。

私は、本や図書館のある生活が当たり前だったことから、中学生の時、「子どもたちに本を届けられる仕事に就きたい」という夢を持ちました。今こうして夢が叶い、司書として働いていることを感慨深く感じます。

幼い頃から大好きな作品の一つに「こんとあき」があります。キツネの人形の「こん」と、少女の「あきちゃん」が、二人つきりで遠くに住んでいるおばあちゃんの家に行くという物語です。初めての二人だけのお出かけは、冒険そのもの。道中でトラブルに見舞われながらも、成長していく二人に、とってもワクワクします。なぜこんなにもこの作品が好きなのだろうと改めて考えると、「あきちゃん」の表情から、子どもながらに

感じている悲しさやうれしさ、寂しさや優しさを感じることができ、心が温まるからだと気づきました。

子どもたちは大人が考えている以上に、物語から人の感情を学んだり、心を高揚させたりして、本を楽しんでいます。日々、子どもたちに読み聞かせをしていると、感情が動いている様子を表情から読み取ることが出来ます。これからも、子どもたちに大好きになってもらえるような本を紹介していきたいと考えています。そこで、今回「児童書を充実して子どもたちの読書支援を行いたい！」というプロジェクトを立ち上げました。

このプロジェクトは、子どもたちの未来に、いつまでも心に残る本との出会いを作り、大切にしたいという思いを込めています。皆さんの協力によって、図書館の児童書が充実し、子どもたちの明るい未来につながります。

「子どもたちに読み継いでいきたい素敵な本をいつまでも…」

このプロジェクトに賛同してくださる人は、ご協力をよろしく願います。

☎中央図書館 946-13000
FAX 944-13800

プロジェクト NO.1

児童書を充実して子どもたちの読書支援を行いたい！



中央図書館

児童サービス担当 司書

北川真衣